

NEWS RELEASE

No. 12-14

2012年11月21日

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

2011年度本科通信講座の成績優秀者を表彰

2011年度本科通信講座（5クラス編成）の修了認定を行い、各クラスの成績上位10%以内の64名を成績優秀者として表彰した（成績優秀者は後掲）。2011年度本科通信講座の終了時の登録者数は778名、修了者数は687名で修了率は88.3%であった。（前年は86.5%）

本科通信講座は、損害保険の基本的・体系的な知識の習得を目的としており、レポート課題8科目の提出とスクーリング（講義と試験、ワークショップ）への出席が修了要件となる。

最終カリキュラムであるスクーリングは6月～8月に東京の損保会館にて、各クラス二日半の日程で実施され、全国から計746名が参加した。

今期のスクーリングでは、特別講義に新たに「海外保険事業」と「損保業界の現状と課題」の2科目を導入した。

「海外保険事業」は損保3社の海外駐在経験者の協力を得て実現した科目で、海外事業は国際関連部門だけが担う時代から、国内部門の理解や個々人のグローバル化が必要とされる環境変化の中で、「自分の取引先から海外進出についての相談を持ちかけられたら」というケーススタディの講義とした。海外事業の変遷、海外に勤務する場合の留意点や営業の基本は国内業務と同じであるという点にも触れた講義内容は多くの受講生から好評を得た。

受講生からは、「海外保険事業について触れる機会がこれまであまりなかったが、本講義を通して概況等を把握することができ、参考になった。また、保険会社が今後海外に進出していくうえで個々の社員のマインドが重要であるということを感じ、情報収集など海外保険市場についての接し方を積極的な方向に変えていこうと考えるに至った。」「海外にチャレンジしてみるのも選択肢に入れるべきだと感じた。」という声があった。

また、「損保業界の現状と課題」（講師は日本損害保険協会 常務理事 栗山 泰史氏）では、昨年の東日本大震災時の損保業界全体の対応についても説明があり、「自分達の働く損保業界がどのような方向、成長を目指すのか理解することができた。」「普段考えない、損保業界視点が聞けた。職場に持ち帰って内容を共有した。」「講師の損保業界に対する熱意が伝

わり、今後若い力で損保業界を発展させていかななくてはという気持ちが強まった。」等、改めて保険の社会的な使命を実感したというコメントが多く見られた。

その他のプログラムについても、「スクーリングを今後も続けて欲しい。他社と一緒に交わり学ぶ機会は滅多にない。また、普段は仕事から競争せねばならない場面が多いので、この機会に交流を深め、損保業界人として切磋琢磨していきたいと思った。」「ワークショップは非常に有意義なものとなった。保険業界の悲観的なムードを覆す活発な議論ができ、他社ではあるが、一緒に仕事をしたいと強く思った。競合他社にとって良きライバルであろうと努めたい。」「損害保険の基礎知識を身に付けることができ、非常に有意義な一年を過ごすことができた。次のきっかけ作りに繋がり、受講して良かったと思う。」等、全過程を終え、学習を通じて味わった達成感の伝わる感想も見られた。

損保総研は、本科通信講座がより有益な学習機会となるよう更に教育品質の向上に努めていく。

【2011年度本科通信講座の受講スケジュールおよび受講科目】

クラス	レポート指導期間	スクーリング
A組	2011年7月～2012年3月	2012年6月13日～15日
B組	2011年8月～2012年4月	2012年7月4日～6日
C組	2011年8月～2012年4月	2012年7月17日～19日
D組	2011年9月～2012年5月	2012年8月6日～8日
E組	2011年9月～2012年5月	2012年8月22日～24日

レポート科目：保険総論、保険契約法、保険業法、海上保険論、リスクマネジメント、損害保険市場論、再保険論、事故対応実務の基礎

スクーリング科目：金融の基礎知識、火災保険論、自動車保険論、新種保険論、損害保険会計

コンプライアンス（特別講義）、海外保険事業（特別講義）、損保業界の現状と課題（特別講義）

※ 成績優秀者の公表につきましては、「掲載日を損保各社にあらかじめ連絡する」ということで了承を得ております。記事として掲載頂ける場合は、掲載予定の日付を tanaka@sonposoken.or.jpまでご連絡頂きたく、大変お手数ではございますがよろしくお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
教育研修部 田中 敬子 TEL 03-3255-5512

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。